

アジア・アフリカ学術基盤形成事業セミナー実施報告書

平成 21 年 1 月 14 日

独立行政法人日本学術振興会 殿

＜コーディネーター

立命館大学産業社会学部・荒木穂積＞

セミナー実施報告書を次のとおり作成しましたので提出します。

セ ミ ナ ー 名		第 1 回「東アジア発達障害児の治療教育プログラム開発に関するセミナー」
開 催 期 間		平成 20 年 11 月 29 日 ～ 平成 20 年 11 月 30 日（2 日間）
開 催 地		日本、京都市、立命館大学衣笠キャンパス
任 日 本 側 責 任 者	氏 名	荒木 穂積
	所属機関・職名	立命館大学産業社会学部・教授
開 催 責 任 者 (※日本以外 開催の場合)	氏 名 (英 文)	
	所属機関・職名 (英 文)	
セミナーの概要及び成果 【概要】 東アジア地域（3 か国、ベトナム・中国・日本）の専門家、若手研究者が①発達障害児の社会的・教育的状況、②治療教育プログラム開発の研究状況を報告・協議し合い、交流を行うことを目的としセミナーを開催した。発達障害児のニーズ調査報告と事例検討が活発に行われ、実践現場の研究者が参加することで各国の発達障害児の教育・福祉分野の実情把握が進捗し、研究ネットワークの基礎構築がなされた。 【成果】 3 か国からの研究者参加により、当該分野の実情把握と研究交流が行われ、国際共同研究の基盤づくりが促進できたといえる。また、大学院生や日本に在住している外国人研究者等の若手研究者が積極的に参加し、将来的にも持続可能な研究ネットワークへと展開する布石となった。ニーズ調査については、予備調査実施の合意が実現した調査項目等についての議論も行い、調査票の作成が完了する等本調査への準備作業が進捗したといえる。		

○参加者リスト

（形式は任意。経費負担の別により区別すること。＜A：セミナー経費から負担。B：共同研究・研究者交流経費から負担。C：本事業経費からは負担しない。＞）

氏名	所属・職位	経費区分
荒木穂積	立命館大学産業社会学部・教授	C
竹内謙彰	立命館大学産業社会学部・教授	C
望月昭	立命館大学文学部・教授	C
前田明日香	立命館大学大学院社会科学研究科・博士後期課程院生	C
荒井庸子	立命館大学大学院社会科学研究科・博士後期課程院生	C
張鋭	立命館大学大学院社会科学研究科・博士後期課程院生	B
Nguyen Thi Hoang Yen	ハノイ師範大学障害児教育学科・学科長	A
Tran Thu Ha	ハノイホープセンター・副センター長	A
Dinh Nguyen Trang Thu	ハノイ師範大学・障害児教育学科・講師	A
Nguyen Nu Tam An	ハノイ国立教育大学・講師	B
Nguyen Thanh Hoa	特別支援トレーニングセンター・講師	B
孫時進	復旦大学心理学科・学科長	A
田恵平	星星雨教育研究所・所長	B

○日程及び課題（セミナー関連資料があれば添付すること）

別途、下記の資料を添付いたします。

1. 発達障害児の親支援のための調査東アジア用（完成版）
2. 日本における発達障害児のニーズ調査について（配布資料）
3. セミナーの様子（写真画像）